

IV 鶴田川改修と吉田川サイフォン

1 鶴田川改修事業の経緯



<経緯>

元禄 6 年～11 年	元禄潜穴を開削
明治 39 年～43 年	明治潜穴を開削(明治 33 年の大洪水で潜穴が被害を受ける)
大正 6 年～昭和 15 年	吉田川改修。品井沼から吉田川を分離し、河口付近で鳴瀬川と合流。品井沼からの流水を吉田川の河底をサイフォンによって横断し、高城川につなぐ。
昭和 23 年	吉田川の再改修
昭和 24 年	中小河川改修事業として採択(22 年災、23 年災の鶴田川、吉田川の大洪水)
昭和 36 年	品井沼遊水地計画を含む現計画を決定(33 年災により新堀川、小迫川間の左岸が破堤)
昭和 38 年～40 年	遊水地内の家屋移転補償 31 戸
昭和 46 年	施設補償、排水ポンプ 10 m ³ /S
昭和 54 年～55 年	高城川トンネル(明治潜穴)を災害復旧(53 年宮城県沖地震)
昭和 55 年	8 月豪雨による鶴田川の破堤等により品井沼遊水地が冠水
昭和 59 年	越流堤工事に着手
昭和 61 年～平成 2 年	吉田川激特事業による改修(61 年 8.5 豪雨により直轄区間 4ヶ所において破堤)
平成 8 年	越流堤のフェーシングを完了し、鶴田川中小河川改修事業が概成

鶴田川改修促進期成同盟会 大崎市・松島町・大郷町

(注) 掲示記載誤りを訂正した箇所は、次のとおり。

- ① 「明治38年～40年 遊水地内の家屋移転補償 31戸」を「昭和38年～40年」に訂正
- ② 「昭和55年 8月豪雨による鶴田川の破堤等により品井沼遊水地が完水」を「冠水」に訂正

2 吉田川サイフォン

■吉田川サイフォン出口にある解説板



(注) 分かりやすいように、今回一部を着色等行った。

(参考) 品井沼(鶴田川) 地区には、吉田川サイフォンのほか県営一般かんがい排水事業で整備された高城川サイフォン、鶴田第一・第二サイフォン、大迫川サイフォン、小迫川サイフォンがある。



▲吉田川サイフォン入り口（鶴田川が右側の吉田川堤防の下をくぐる）



▲吉田川サイフォン出口（吉田川の下をくぐってきた鶴田川の出口＝ここから高城川になる）
（参考）画像の堤防の白い点のように見えるものは、1～7までの水路番号。



▲かたらいの水辺(吉田川サイフォン出口にある。前は高城川と幡谷大橋)



▲土木学会選奨土木遺産プレート(サイフォン出口に設置)